一般質問

・御前崎小学校の通学路の側溝のふたの穴の危険性と対策について
・プラスチック廃棄物リサイクルの重要性に対する認識と市の現状について

小田芳久

問 交通安全白書では、小学生の交通死亡事故は歩行中が5割以上占めています。市民の方々より御前崎小学校の通学路の側溝のふたの穴に児童のつま先が挟まり転倒の危険性があるとの指摘がありました。側溝のふたの穴の危険性に対する対策が必要ではないか伺います

答 道路の拡幅や歩道の設置が困難な通学路には、グリーンベルトを設けるなど走行車両に対して注意喚起を行い、通学路の安全確保に努めております。県や関係機関と連携し、状況に即した具体的なハード対策を検討します。

問 国は「プラスチック資源循環戦略」を策定し、2035年までに使用済みプラスチックを100%リユース・リサイクル等に有効利用するよう様々な取り組みを推進しております。プラスチック廃棄物リサイクルの重要性の認識と、本市の現状を伺います

答 廃棄物の削減、再使用やリサイクルは、SDGsでも求められており、全世界で取り組むべき重要な課題であると認識しております。本市のプラスチック廃棄物リサイクルは「第2次御前崎市一般廃棄物処理基本計画」において燃料化あるいは再商品化をする計画となっております。

問 本市のプラスチック廃棄物リサイクルはほぼできているが、再商品化は市外の企業で行われているため、ペレット製造企業を拡充し、市内の企業での再商品化を検討すべきであると思うが、松坂副市長のお考えを伺います

答 プラスチックペレット製造業をはじめとしたリサイクル関連企業が市内に増加することで、商工業の活性化や雇用創出につながると思います。既に多くの大企業がプラスチックリサイクル事業に取り組んでおりますが、事業採算は厳しいとの話も伝わっております。今後は、私の民間企業での経験を活かし、市内外の様々な企業と意見交換をし、商工業の発展につなげてまいります。

一般質問

・学区再編について

髙田和幸

問 牧之原市では2033年に地頭方小学校を含む相良小中一貫校が誕生する予定と聞いている。これにより8年後には御前崎中学校から地頭方の子供たちはいなくなり、白羽、御前崎地区の子供たちだけとなる。そのようになる前に、御前崎中学校をどうするべきか考えなければならないと思うがいかがか

答 本年9月3日に牧之原市長から正式に「牧之原市小中学校の再編に伴う御前崎中学校に関する協議について（依頼）」の文書を受領しました。御前崎中学校の学習環境が大きく変わることになります。本市にとって極めて重要な課題であり、慎重に対応すべきであるため、今後2年を目安に方向性を決めてまいります。

問 子供や保護者、地域住民の意見を集約する必要があると思う。情報提供や勉強会、検討会を計画するつもりはあるか

答 白羽のんのん英育園に通う保護者からの意見聴取は必要だと考えており、本年度、園に出向いて現状説明と意見聴取を実施しております。

問 御前崎中学校の再編については、3年間通学する中学生のことを第一として考えてもらいたい。全国学力学習調査の結果が悪い状況を考えれば、より学習に取り組める環境を整える必要があると思うがいかがか

答 子供たちにとって教育の質を確保し、充実した学びを保障することが最も大切なことだと考えております。

問 歴史、伝統、通学時間等を考えると浜岡中学校との合併は現実的ではないと思うがいかがか。また、御前崎中学校の在り方を検討するにあたり、各方面の意見を集約して欲しいがいかがか

答 合併については教育委員会と一体となって考えていく必要があります。御前崎中学校については、方法論を示して地域住民の意見を聞くために、意見聴取の方法を検討してまいります。